

## 令和6年度2学期始業式式辞

2学期が始まります。

現在のスポーツ庁長官が誰か分かりますか。室伏広治（むろふしこうじ）さんですね。ハンマー投げの世界的なアスリートであり、アテネオリンピックでは金メダルにも輝いています。世界の大柄なハンマー投げの選手たちに比べると、小さく見えてしまう室伏さんでしたが、スピードと技を磨いて世界一の座を獲得したんですね。

さて、室伏さんは、技を極めることについて「紙を毎日重ねるようなもの」「瞬間のひらめきや、1日や2日でできるものではない」と述べています。毎日毎日、薄い紙を重ねていくように努力を重ねて、ようやく極めることができると言っているのですね。

同じく陸上競技の名マラソンランナーで、メキシコオリンピックの銀メダリスト君原健二（きみはらけんじ）さんもまた、努力を紙に例えて次のような言葉を残しています。

「努力の成果なんて目には見えない。しかし、紙一重の薄さも重なれば本の厚さになる」

私たちは、努力の成果が見えない時、努力をやめてしまいがちです。しかし決してそうではないことを教えてくれる言葉です。

さて、今日から2学期の終業式まで何日あるか数えたら123日ありました。1日の努力による成長は微々たるものかもしれませんが、しかし、123日重ねたとなると話は違ってきます。123枚の紙束は、ページにすると246ページです。結構な厚みの本になります。

皆さん、2学期が始まります。1日1日を大切に積み重ねて、いい「本」を作ってください。

令和6年8月23日

校長 伊藤文一